

未来のアスリート発掘事業 20 期生・ジュニア指定者

NTC視察事業

【NTC 施設紹介・体験(ウェイトトレーニング場)・アスリート育成パスウェイ等講義・
オリンピックミュージアム視察体験・国立競技場視察(試合観戦)】

報告書



- 1 実施日 令和7年11月22日 (土)
- 2 場 所 味の素ナショナルトレーニングセンター
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE
日本オリンピックミュージアム
国立競技場
- 3 訪問者 未来のアスリート発掘事業 20 期生・ジュニア指定者
児童 44名 (男子21名・女子23名)
引率 5名

4 日程

6 : 5 0	出発式
7 : 2 2	J R 富山駅 発
9 : 0 7	J R 大宮駅 着
9 : 2 0	J R 大宮駅 出発 (貸切バス)
1 0 : 0 0	NTC 着
	施設見学・体験 (ウェイトリフティングトレーニング場)
1 1 : 0 0	NTC 出発 (貸切バス) ※バス内にて昼食
1 2 : 0 0	「アスリート育成パスウェイについて」「NTC 施設等の紹介」 講師：山下 修平 氏 (ハイパフォーマンススポーツセンター ハイパフォーマンス戦略部開発課課長)
	講師：齋藤 翠 氏 (ハイパフォーマンススポーツセンター ハイパフォーマンス戦略部開発課専門職)
1 2 : 5 0	移動 (徒歩)
1 3 : 0 0	日本オリンピックミュージアム 着 見学
1 3 : 4 5	移動 (徒歩)
1 4 : 0 0	国立競技場視察 (試合観戦) 天皇杯第105回 JFA 全日本サッカー選手権決勝 FC 町田ゼルビア VS ヴィッセル神戸
1 5 : 4 5	国立競技場 出発 (貸切バス)
1 6 : 2 0	J R 東京駅 着
1 7 : 2 4	J R 東京駅 発
1 9 : 3 6	J R 富山駅 着・解散

5 視察の記録

○出発式・乗車までの様子

移動の際は、背中に未来のアスリート生の看板を背負っており、いつも見られている意識をもって行動していました。

未来のアスリート生として競技能力の向上を目指すと同時に、周囲から応援されるアスリートになれるよう、あいさつやマナ一面、感謝の気持ちや周囲とのコミュニケーションなどを大切にしてほしいと思います。



○NTC 観察・体験の様子【ウェイトリフティングトレーニング場】

(公社)日本ウエイトリフティング協会専務理事・選手強化本部長の小栗和成氏と同協会の細川翔平氏のご協力により NTC 施設内のウエイトリフティングトレーニング場を視察させていただきました。競技特性やルール、1gまでにこだわった精巧な器具を使用していることなどについて説明を受けました。その後、実際にナショナルチームのメンバーが使用している器具に触れさせてもらい、シャフトの手触りや重さを感じたり、持ち上げたりなどの体験もしました。20期生・ジュニア指定者たちは、いつかは NTC へ日本代表アスリートとして戻ってきたいと意欲を高めていました。最後にサプライズとして、パリオリンピックでウエイトリフティング競技に出場されました村上英士朗選手から激励の動画メッセージをいただきました。未来のアスリート20期生・ジュニア指定者代表として、野口潤葉さんが講師のお二人にお礼の挨拶を行いました。





○「アスリートライフスタイル」「NTC施設等の紹介」

【JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 内の会議室にて】

日本スポーツ振興センターより、講師として山下修平氏と齋藤翠氏にお越しいただき、「アスリート育成パスウェイ」「NTC施設等の紹介」の講義を受けました。

「オリンピック選手なりたいですか？」の問い合わせに多くの児童が手を挙げましたが、「オリンピック選手になれると思いますか？」の問い合わせには誰も手を挙げることができませんでした。オリンピック選手には簡単になれるものではなく、たくさんの努力が必要になってきます。それぞれが自分を振り返り、今後どういった生活を送らなければいけないか考えさせられるきっかけをもらっていました。

また、「見えていること」「見えていないこと」について考えることもお話ししていました。今回のNTC視察でも、見えていない所で多くの方のご尽力があり視察できていることを考えさせられました。20期生・ジュニア指定者には、日々たくさんの方にサポートしてもらっていることを常に感謝しながら、毎日を送ってもらいたいと思います。

未来のアスリート20期生・ジュニア指定者代表として、有澤優芽さんが講師のお二人にお礼の挨拶を行いました。

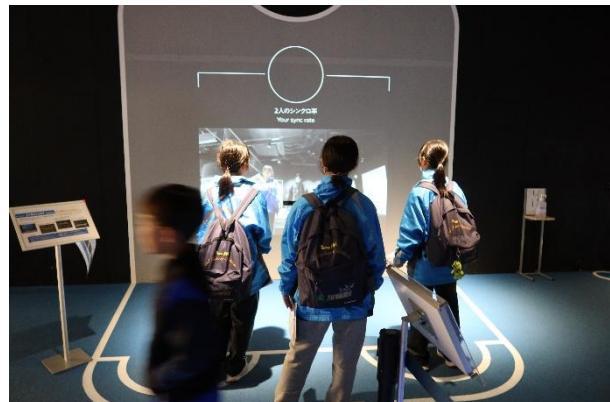


○見学・体験の様子【日本オリンピックミュージアムにて】

ミュージアムでは、「知る」「感じる」「学ぶ」「挑戦する」「考える」「エンディング」のそれぞれのエリアでオリンピックについて学びました。

オリンピックの歴史や、理念を学んだことにより、スポーツに対する考え方やインティグリティー（誠実さ、高潔さなど）の意識を高めるきっかけとなりました。

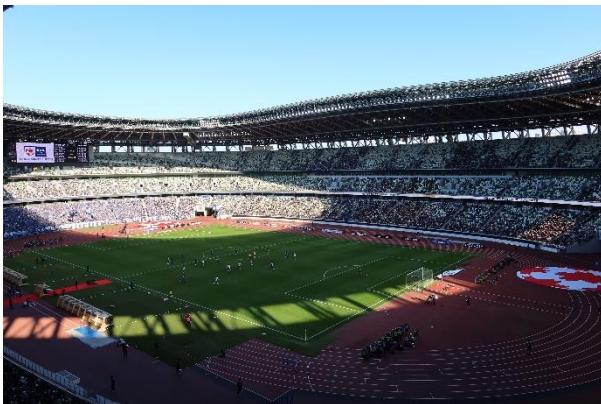
体験コーナーでは、夏季大会と冬季大会で行われるさまざまな競技が紹介されていました。未来のアスリート生は、競技に共通する複数の身体の動きをブース内で測定し、オリンピアンの身体能力に挑戦していました。



○視察・体験の様子【国立競技場・試合観戦】

国立競技場の視察・体験として天皇杯第105回 JFA 全日本サッカー選手権 FC町田ゼルビア VS ヴィッセル神戸の試合観戦を行いました。観客数3.1万人を超える大観衆の中での試合となりました。

試合は一進一退の好ゲームであり、ゴールが決まると会場は大いに盛り上がり、未来のアスリート達も純粋に試合観戦を楽しんでいました。国立競技場のスケールの大きさに感動し、アスリート達も刺激を受け、トップアスリートを目指して将来この大観衆の中で戦う自分の姿と重ねて意識の高揚を図れたのではないかと思います。



参加児童の感想

NTCの屋内トレーニングは16個もあると聞き、とても多くてびっくりしました。NTCを見学して心に残っている言葉が2つあります。1つ目はJOCのスローガンです。「人間力の向上なくして競技力の向上なし」という言葉です。とても深く考えさせられました。

2つ目は7人制ラグビーの代表の言葉で「競技のことが少しでも好きだったら続けてみてください」です。言葉の中の一つでしたがとても心に響きました。

一般の人が入れないNTCのウェイトリフティング場に入り、トップ選手が使っている器具などを見たり触ったりしながら学ぶことできて良かったです。次にNTCに訪れる時は、トップアスリートとしてこの場に戻ってこれるように、これからも未来のアスリート発掘事業や自分がやっているスポーツをがんばっていきたいです。

国立競技場ではサッカー観戦では、テレビとは迫力が全く違い、「歓声の大きさ」「選手の声」など全てが自分の想像していたレベルを圧倒しました。

NTCを見学・講義を受けて施設のすごさを知りました。ウェイトリフティングの体験では、バーだけでも15kgや20kgあることに驚きました。分厚い重りは、全然持ち上がらなかつたので、それを何個も持ち上げているのはすごいと思いました。

最後に、パリオリンピックに出場された村上さんから「激励のメッセージ」をもらつたので、今後に生かしたいと思います。

特別講義では、「考えることを考える」「見えないものを見ようとする」「知っていないことを知る」ということが印象に残っています。今日から意識していきたいです。

オリンピックミュージアムでは、聖火バトンを持たせていただけるような体験をしました。とても嬉しかったです。オリンピックの誕生の歴史も知ることができました。

特別講義では、見えないものを見ようと正しく努力できる、逆に見えるものしか見えないままだと、うまくいかない時に周りのせいにしてしまうなど、とても大切なことを学びました。この学んだことを今後に活かしていきたいと思いました。

オリンピックミュージアムでは、今までのメダル、オリンピアンのシューズ、聖火バトン、オリンピアンのユニフォームなどがありました。オリンピック関係のことを今まで以上にたくさん学べてよかったです。

いつかオリンピックに出てみたいという気持ちが今までより強くなりました。

国立のサッカー観戦ではプロの生のプレーを見て、僕も国立の大舞台に立ちたいと思いました。ゴールが決まった後の盛り上がりも最高でした。僕も国立に立ってゴールを決めて最高の盛り上がりや最高の嬉しさを味わいたいなと思っています。

今から、頑張って国立、そして世界へ羽ばたける選手になりたいです。